

株主の皆さまへのご挨拶とご報告

第37期 概況について

当期の我が国の経済は、政府による景気の底入れ宣言が一旦発表されたものの、世界経済への先行き懸念、株価低迷により、失業率がこれまで最高水準を記録するなど、国内景気の低迷が依然続いております。また、当業界におきましても、BSE（牛海綿状脳症）問題以降の相次ぐ食品業界の不祥事は、食肉に対する消費者の信頼を損ねる結果となり、個人消費の低迷も相俟って、当社を取り巻く環境は大変厳しい状態が続いております。



平成15年5月
代表取締役社長 CEO
森島 征夫

業績の黒字転換について

前期のBSEを主因とする赤字経営から早期脱却を図り、スリムで強靱な経営体質を築くべく、経営の大革新「チャレンジ21-リエンジニアリングプラン」を実践いたしました。営業面につきましては、「バラエティミート世界一」「焼肉日本一」を目指し、「こてっちゃん20周年キャンペーン」や「もつ鍋10周年キャンペーン」など前向きな施策を積極的に展開するとともに、お客様に、より安心・安全な製品を提供するため、ISO9001の2000年度認証取得及び製品の生産履歴の追跡・調査が可能なトレーサビリティシステムの構築を行い、信頼と付加価値の向上に努めました。売上高より販売数量を重視する戦略を強化し、マーケットシェアの拡大に努めました。

以上の結果、リエンジニアリングは順調に進捗し、販売数量は55,571トン、前期比7.3%増加しましたが、単価の下落及び低価格商品の取り扱い量が多かったため、売上高は385億3千3百万円と前期比4.2%の減少となりました。利益面におきましては、経常利益は14億3千7百万円と前期比292.0%の増加となり、当期利益は7億2千7百万円と黒字に転換し、当初の計画を達成することができました。

経営の基本方針について

当社は、当社の経営理念・社是である「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する。我々は真のやりがいを感じ、企業の成長・発展とともに生活・文化の向上を図る。」を基本とし、世界の人々が幸せになるよう食肉原料製品と加工食肉の製造及び食肉の販売という食肉事業を主領域に定め、企業の存在価値を高め世界に貢献できる企業集団を目指して、グローバルな事業展開を行っております。

「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品」とは、製品・商品の開発と販売を通して品質、安全性、機能性、栄養価、価格及び食事に求める楽しさや充実感など、お客様の要望にお応えできる魅力ある製品・商品とサービスを創造し提供することであり、今後も、「社是」及び五愛の精神（5つの愛：お客様を愛する。商品を愛する。会社を愛する。社員を愛する。株主を愛する。）に基づく「社訓」ならびに企業倫理と法令順守（コンプライアンス）を含めたあるべき行動規範である「エスフーズ行動憲章」の下、信頼と企業価値を高め「強い会社を実現する」という経営ビジョンの達成を目指してまいります。

会社の経営管理組織整備等（コーポレートガバナンスの充実）について

当社は、21世紀を勝ち抜く「強い会社」の実現のため、「コーポレートガバナンスの充実」と「スピーディーな意思決定と業務執行」に重点を置き、透明度と信頼性の高い経営システムを構築してまいります。

取締役の役割と機能（意思決定と経営監督責任）を明確にし、任期の変更（2年から1年へ）、取締役数の見直し及び定年制の導入を行い、取締役会の活性化とスリム化を図ってまいります。また、新執行役員制度を導入しており、業務の効率化を高めてまいります。

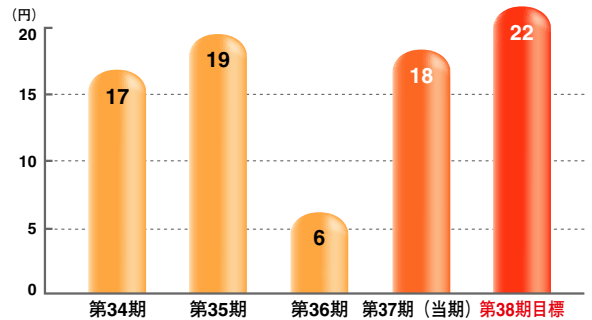
法令順守（コンプライアンス）につきましては、「法令順守委員会」と新たに設置した「品質保証課」を中心に表示・品質管理体制と安全衛生・危機管理体制の強化を図ってまいります。

また、積極開示（四半期決算開示）を進めるとともに、負の資産は持たないという財務健全化を図ってまいります。

Q1. 第37期期末配当が上方修正されましたが?

A. 当社は、創業以来一貫して株主の利益を最も重要な課題として事業の経営に当たってまいりました。当期の配当につきましては、リエンジニアリングの成果も出てまいりましたので、「こてっちゃん20周年」及び「もつ鍋10周年」を記念し、記念配当6円を含む1株につき18円（配当性向52%）の配当を予定しております。今後の配当政策につきましても、普通配当1株12円を安定的・継続的な利益還元の基本目標ラインとした上で、配当性向40%を目処として、業績向上による一層の利益還元を実施してまいりたいと考えております。

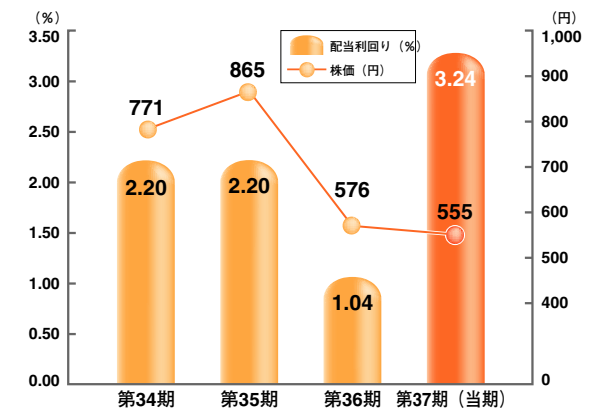
●1株当たり配当額（円）



Q2. 一般投資家を増やす狙いは?

A. 当社製品をご愛食いただいている消費者（個人投資家）の皆様にも、一人でも多く株主になっていただくことでエスフーズファンの拡大を図っていきたくと考えております。そのために平成14年7月1日から証券取引所における売買単位を1,000株から500株に引き下げました。さらに第38期からは、四半期決算開示やホームページ等へのきめ細かい情報開示を充実してまいります。また、第37回株主総会で新たに「単元未満株式の買増し請求」を採用いたしました。

●期末株価（円/1株）及び配当利回り推移（%）



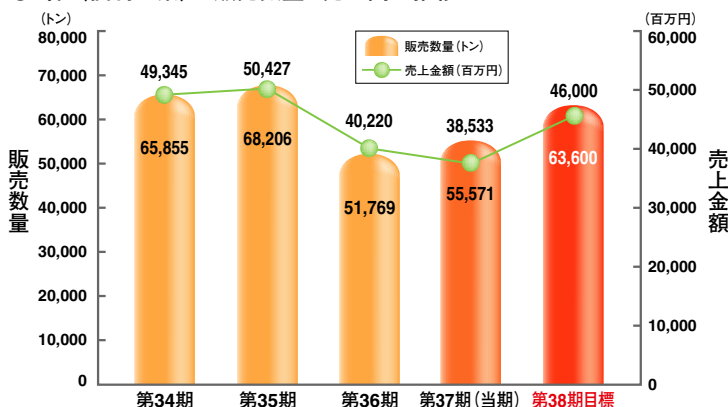
Q3. 次期38期の見通しは?

A. 「リエンジニアリングの完遂・ビジネスモデルづくりの推進により、価値創造企業を目指す」を年度方針に掲げております。経営資源は、当社の価値をより多く創造できる場所（既存のビジネスモデルのさらなる強化）及び将来の楽しみのある場所（新たなビジネスモデルづくり）に重点的に配分し、コア製品（「こてっちゃん」に代表される強い製品）の開発を行うとともに売り場の開拓を行ってまいります。以上により、当社（個別企業）の次期38期の販売数量は63,600トン（前期比14.4%増）、売上高は460億円（前期比19.4%増）、経常利益は22億円（前期比53.0%増）、当期利益は12億円（前期比65.0%増）を見込んでおります。

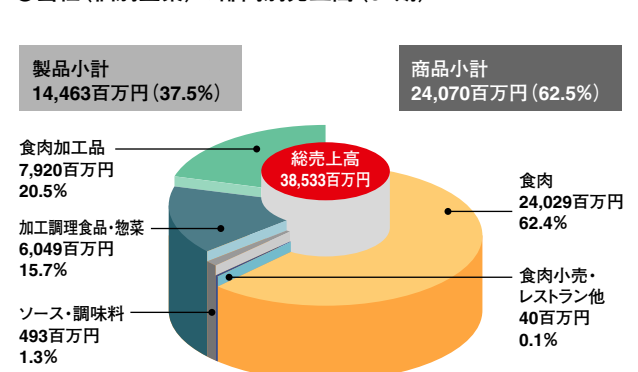
エスフーズビジネスモデル

- 社会に貢献できるもの
- No.1であること
- 付加価値があるもの
- 壊されないもの
- 横展開できるもの

●当社（個別企業）の販売数量と売上高の推移

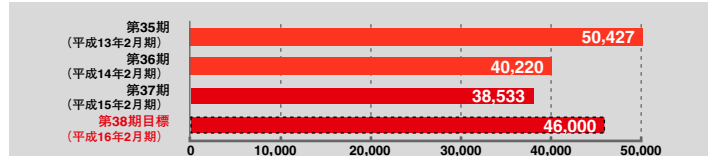


●当社（個別企業）の部門別売上高（37期）

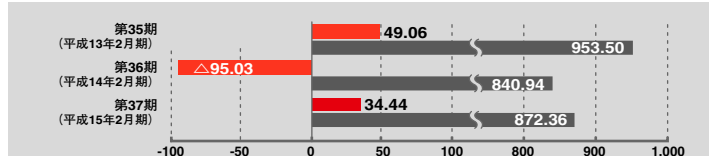


当社の営業成績および資産状況の推移

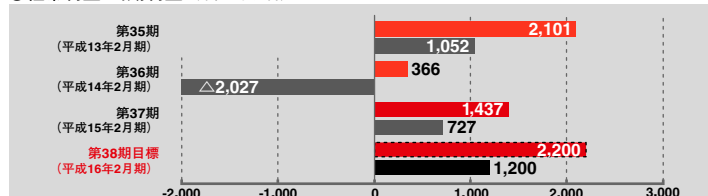
●売上高 (単位:百万円)



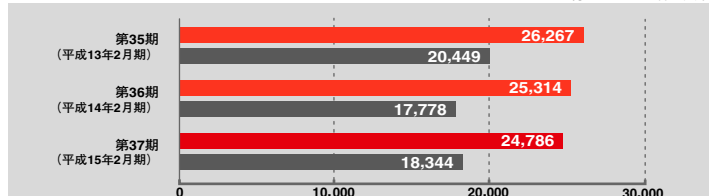
●1株当たり当期利益/1株当たり株主資本 (単位:円)



●経常利益/当期利益 (単位:百万円)



●総資産/株主資本 (単位:百万円)



当社の貸借対照表および損益計算書

●貸借対照表 (要旨)

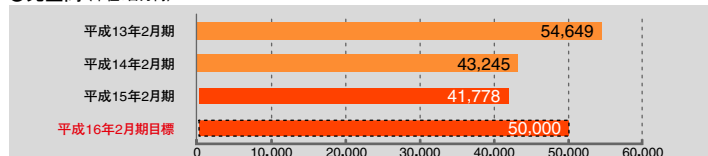
	(単位:百万円)	
	当期 平成15年2月28日現在	前期 平成14年2月28日現在
資産の部		
流動資産	10,693	10,480
固定資産	14,093	14,834
資産合計	24,786	25,314
負債の部		
流動負債	6,039	7,145
固定負債	402	390
負債合計	6,442	7,536
資本の部		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
利益準備金	590	590
剰余金	9,595	8,995
資本合計	18,344	17,778
負債・資本合計	24,786	25,314

●損益計算書 (要旨)

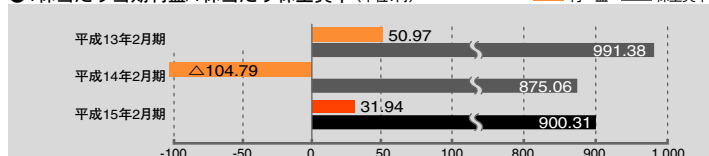
	(単位:百万円)		
	第38期目標 平成15年3月1日 自 平成16年2月29日	当期 平成14年3月1日 自 平成15年2月28日	前期 平成13年3月1日 自 平成14年2月28日
経常損益の部			
営業収益	46,000	38,533	40,220
営業費用	43,800	37,089	40,355
営業利益	2,200	1,444	△135
営業外収益		204	553
営業外費用		211	51
経常利益	2,200	1,437	366
特別損益の部			
特別利益		12	166
特別損失		128	4,026
税引当期利益		1,321	△3,493
法人税、住民税及び事業税		35	60
法人税等調整額		558	△1,526
当期利益	1,200	727	△2,027
前期繰越利益	1,139	806	960
当期末処分利益	2,339	1,533	△1,066

連結での営業成績および資産状況の推移

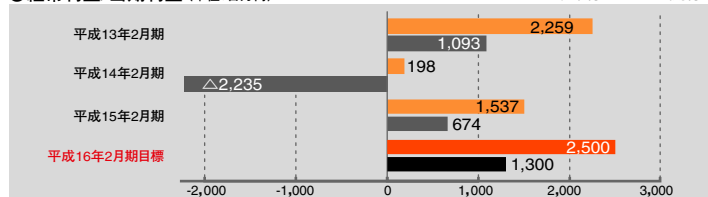
●売上高 (単位:百万円)



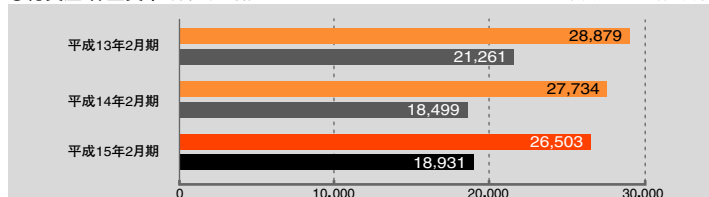
●1株当たり当期利益/1株当たり株主資本 (単位:円)



●経常利益/当期利益 (単位:百万円)



●総資産/株主資本 (単位:百万円)



連結での貸借対照表および損益計算書

●貸借対照表 (要旨)

	(単位:百万円)	
	当期 平成15年2月28日現在	前期 平成14年2月28日現在
資産の部		
流動資産	11,858	12,129
固定資産	14,644	15,604
資産合計	26,503	27,734
負債の部		
流動負債	6,415	8,067
固定負債	494	434
負債合計	6,910	8,502
少数株主持分	660	732
資本の部		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
連結剰余金	10,748	10,200
自己株式	△254	△194
資本合計	18,931	18,499
負債・少数株主持分及び資本合計	26,503	27,734

●損益計算書 (要旨)

	(単位:百万円)		
	平成16年2月期目標 自 平成15年3月1日 自 平成16年2月29日	当期 自 平成14年3月1日 自 平成15年2月28日	前期 自 平成13年3月1日 自 平成14年2月28日
経常損益の部			
営業収益	50,000	41,778	43,245
営業費用	47,500	40,175	43,465
営業利益	2,500	1,603	△220
営業外収益		148	499
営業外費用		214	80
経常利益	2,500	1,537	198
特別損益の部			
特別利益		20	114
特別損失		232	3,958
税金等調整前当期利益		1,326	△3,646
法人税、住民税及び事業税		90	114
法人税等調整額		542	△1,558
当期利益	1,300	674	△2,235

●連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

科目	当連結会計年度 平成15年2月期	前連結会計年度 平成14年2月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,293	△1,261	5,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613	△196	△417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,300	2,267	△5,568
現金および現金同等物の期末残高	2,671	2,301	370
借入金・社債期末残高	836	3,953	△3,117

●利益処分 (単位:千円)

当期末処分利益	1,533,785
特別償却準備金取崩額	2,194
合計	1,535,979

これを次のとおり処分いたしました。

利益配当金	〈普通配当 1株につき12円〉	378,507
	〈記念配当 1株につき6円〉	
役員賞与金		17,600
(監査役賞与金)		(1,600)
次期繰越利益		1,139,872

エスフーズ会社概要

■役員(平成15年5月22日改選後)

取締役社長 森島 征夫
 取締役 富沢 進
 取締役 朝永 直樹
 取締役 旦 有孝
 取締役 田中 基裕
 取締役 西田 健一
 常勤監査役 大広 雄二郎
 監査役 中野 正信
 監査役 大塚 忠重

■設立

昭和42年5月22日

■資本金

42億2,664万円(平成15年2月末現在)

■従業員数

361名(男性301名・女性60名、平成15年2月末現在)

■年間売上高

385億円(平成15年2月期実績)

■事業内容

食肉類の加工販売
 食肉加工品の製造及び販売
 ソース、調味料の製造及び販売

■系列会社

ミスタースタミナ株式会社
 株式会社ケンシヨク
 鳴尾興産株式会社
 フォエム食品加工株式会社
FREMONT BEEF COMPANY
 株式会社味兆
 五愛焼肉コンセプト株式会社
 すこやか食品株式会社
 株式会社静岡味兆

※平成16年2月期より、全ての子会社を連結対象会社といたします。

■事業所

- 本社
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13
TEL.0798-43-1065(代表)
- 東京本社
〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38
TEL.047-435-0811(代表)
- 支店
名古屋、九州
- 営業所
札幌、仙台、茨城、船橋、北関東、八王子、横浜、静岡、長野、岡崎、東海西、京都、西宮、りんくう、和歌山、岡山、広島、姫路(出張所)
- 工場
西宮、西宮第二、船橋

株式の状況

平成15年2月末日現在

■発行する株式の総数
76,500,000株

■発行済株式の総数
21,446,659株

■株主数
2,455名

■大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ファイブエム	5,663,087	26.4	—	—
丸紅株式会社	3,217,550	15.0	445,000	0.0
伊藤ハム株式会社	838,888	3.9	441,525	0.2
三井物産株式会社	705,000	3.2	140,600	0.0
株式会社UFJ銀行	610,790	2.8	—	—
包括信託受託者 三井アセット信託銀行株式会社	610,000	2.8	—	—
森島征夫	500,908	2.3	—	—
エスフーズ従業員持株会	339,974	1.5	—	—
日本マスタートラスト信託銀行	314,500	1.4	—	—
株式会社カウボーイ	312,100	1.4	30,000	0.1

(注)1. 当社の自己株式(418,492株、持株比率1.9%)は、上記の表には含めておりません。
 2. 当社は、(株)UFJ銀行の持株会社である(株)UFJホールディングスの株式50.06株(持株比率0.0%)を保有しております。
 3. 包括信託受託者 三井アセット信託銀行(株)の持株数610,000株(持株比率2.8%)は(株)三井住友銀行が同行に委託した信託財産であり、その議決権行使の指図権は、(株)三井住友銀行に留保されております。なお、当社は、(株)三井住友銀行の持株会社である(株)三井住友フィナンシャルグループの株式30.8株(持株比率0.0%)を保有しております。

株主メモ

- 決算期 毎年2月末日
- 定時株主総会 毎年5月
- 基準日 (1) 定時株主総会については2月末日
(2) その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 公告掲載 当社は今期から日本経済新聞での決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算表を当社のホームページ(<http://www.sfoods.co.jp/investor/koukouku.html>)に掲載することといたしました。
- 株式名義書換
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 06-6229-3011
同取次場所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部) 0120-68-4479(大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
- 1単元の株式の数 500株
- 上場証券取引所 東京・大阪証券取引所市場第一部
- 証券コード番号 2292



こてっちゃん
2003年夏のキャンペーン実施
 2003年7月1日~8月31日まで

① こてっちゃん食べ方提案: 料理メニューレシピ第2弾投入
 ② TVCM放映: 強力メディアプロモーション